

大会役員

大会会長	福田 孜							
顧問	東野 宗朗	貫江 和夫	横山 哲夫					
参与	小沢 勝	今井 英二	式部 潔	宮内 敬				
大会委員長	島田 一彦							
大会副委員長	北岡 勝	林 清通	増田 義春	藤田 章一	中川 義治			
実行委員長	池森 武宣							
総務	寺井 清	山崎 範男	山形 孝	土井 政幸				
会場責任者	吉川 聡	西野 信幸	廣田 正利	南 博文	永井 宏			
	高倉 豊	板坂 憲司						
審判委員	徳川 尚	浦田 浩治	池田 誉洋	泉田 勝也	水野 貴之			
	大森 隆児	神谷 耕一	上野 博行	赤根 宏和	中井 裕			
	瀬山 豊和	前田 清一	辻村 直明	浦山 友輔	不破 昌謙			
	橋本 信之							
運営委員	法島 勝	小原 隆	岡田 等	板坂 憲司	石田 敬真			
	釣田 章良	楠 孝博	安田 芳一	宮北 一晴	山田 昌幸			
	野中 順一	越野 静雄	谷吉 竜一	伊藤 伸博	長谷川 隆			
	和田 正信	中山 芳雄	竹田 貴紀	橋本 大一郎	江添 泰弘			
	会沢 明彦	山崎 哲嗣	高橋 睦	皆口 逸人	松永 満雄			
	大西 勝							

開 会 式

日 時	平成22年4月18日(日)	8時30分	受付開始
		10時00分	開始
		10時30分	組合せ抽選会
		11時30分	少年サッカーの集い
場 所	富山県総合運動公園 陸上競技場(雨天、屋内ドーム)		

選手整列

開式のことば

優勝杯等の返還

開会のあいさつ

主催者あいさつ

各賞贈呈

競技上の注意

選手宣誓

閉式のことば

前年度優勝チーム

水橋 FC

大会委員長

富山サッカー友の会会長

島田 一彦

読売新聞富山支局長

小沢 勝

北日本放送営業局長

宮内 敬

優勝杯・敢闘賞・努力賞・グッドマナー賞 協賛各社

審判委員長

富山サッカー友の会審判委員長

徳川 尚

水橋 FC キャプテン

決勝戦録画中継：北日本放送にて6月25日(金)16時05分から放送予定

大会規定

主旨 (社)富山県サッカー協会第4種登録及び富山サッカー友の会加盟のチームが、サッカー競技を通じて体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、強く正しく生きる人間をつくることを目的とする。

名称 第34回全日本少年サッカー大会富山大会兼
第41回KNB杯富山県学童クラブサッカー大会

主催 財団法人日本サッカー協会 財団法人日本スポーツ少年団 読売新聞社
共催 北日本放送

後援 日本テレビ放送網 報知新聞社 富山県教育委員会

特別協賛 北陸コカ・コーラボトリング YKK 花王

協賛 日清オイリオグループ ゼビオ

主管 社団法人富山県サッカー協会 富山サッカー友の会

期日 平成22年5月8日(土) ~ 6月20日(日)

会場 予選リーグ、1・2回戦 富山市殿様林緑地グラウンド
3回戦・準決勝・決勝 富山県総合運動公園

参加資格 (1) 参加者は、全員日本サッカー協会に登録済みであること。(登録期限4月17日)

チームの代表者は登録期限までに参加申込書(最大25名)を大会事務局までメールで提出

(2) 上記チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。

(3) 常時指導しうる責任のある指導者のいる小学生チームで、満12才以下であること。

(4) 引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。

(5) 試合には、4級以上の審判員を帯同し、試合の審判を行うこと。

*なお、主審については、当該チームの試合の有無にかかわらず割当となります。

(5)各チームの責任者は、参加選手の保護者の同意を得ること。

(6)参加者は、スポーツ安全保健に加入済みのこと。

(7) ユニフォームは異色のものを2着用意すること。

(FP・GKそれぞれ異色のものを2着用意すること)

競技方法 (1) 全参加チームを16グループに分け、予選リーグを行い、上位2チームが決勝トーナメントに進出する。

(2) 予選リーグでの順位決定方法は勝ち3点、引き分け1点、負け0点の勝ち点により勝点の多いに決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。

1.全試合の得失点差(総得点 - 総失点)

2. 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)

3. 全試合の総得点

4.1. ~ 3.の全項目において同一の場合は、当該チーム同士のPK方式により決定する。

(3) 決勝トーナメント戦においては、3位決定戦は実施しない。

(4) 試合時間は40分(20分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。

規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は予選リーグにおいては引き分けとする。

決勝トーナメントにおいては、トーナメント1回戦・準々決勝は、PK方式により

次回戦への進出チームを決定する。準決勝及び決勝は、10分(5分ハーフ)の延長戦(Vゴール方式ではない)を行い、なお決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。なお、延長戦に入る前のインターバルは5分、PK方式に入るまでのインターバルは1分とする。

競技規則 大会実施年度の(財)日本サッカー協会競技規則による。但し、以下の項目については特に少年用として大会規則を定める。

(1) 交代要員7名とし、7回までの自由な交代を適用する。(一度退いた競技者も再び出場出来、何回でも交代可能とする。但し、交代の手続きはサッカー競技規則第3条に則る)

(2) 本大会において、退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。

(3) 本大会において、異なる試合において警告を2回受けた競技者は次の1試合に出場できない。なお、予選リーグにおける警告処分は、決勝トーナメントへは持ち越さないものとする。

(4) ベンチに入ることができる人数は10名(交代要員7名、引率指導者3名)とする。

- (5) テクニカルエリアを設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人の引率指導者が伝えることができる。指示を与えた後は所定の位置に戻らなければならない。
- (6) ロスタイムの表示については決勝戦のみ実施する。
- (7) **ピッチサイズ**:縦 80m 横 50m(全試合) ・**ペナルティエリア**:ゴールライン上、ゴールポスト外側に 12m、その地点からゴールラインに直角 12m ・**ゴールエリア**:ゴールライン上、ゴールポスト外側に 4m、その地点からゴールラインに直角 4m ・**センターサークル**:半径 7m ・**ペナルティマーク**:8m ・**ペナルティアーク**:半径 7mの半円弧 **フリーキック時の壁との距離**:7m ・**ゴール**:ゴールの内のり縦 2m、横 5m

表彰 1 位 賞状、優勝カップ、優勝盾、優勝旗、優勝メダル

2 位 賞状、準優勝メダル

3 位 賞状、敢闘賞トロフィー

3 位 賞状、努力賞トロフィー

グッドマナー賞 トロフィー(決勝トーナメントベスト8チームより大会本部が選考する。)

参加賞 各チーム18個チーム宛て送付される。

なお、1位チームは全国大会・北信越大会・北電杯・立山杯、2位チームは中部日本大会の出場権を得る。

経費 大会にかかる経費は共催社・主管協会で負担するが、会場に至る往復の交通費及びその他大会参加に必要な経費は参加者負担とする。

その他 (1) 試合中に発生した負傷、疾病は大会本部で応急手当はするが、その後の治療に関しては各チームのスポーツ保険にて対処すること。

(2) 取り替え式ポイントシューズの使用を禁ずる。

(3) 試合時間40分前に、大会本部へ当日メンバー表を2部提出、ユニフォーム(FP・GK)各正・副一式(シャツ・ショーツ・ストッキング)を提示し、試合日程の左側をホームチームとし、着用するユニホームは主審が決定する。なお、メンバー表は富山サッカー友の会のホームページからダウンロードした公式戦メンバー表を使用のこと。

決勝トーナメントからは選手登録証の提示する。

(4) 特別の場合を除き、雨天決行とする。

(5) 途中棄権チームが出た場合、予選リーグ戦については、当該チームの対戦記録を抹消する。ただし、決勝トーナメント戦においては、特別な事情のない限り棄権を認めない。

(6) インフルエンザ等で学校閉鎖・学級閉鎖がある場合、大会当日の棄権を認めます。また、指導者・父兄で試合当日の朝、選手の健康観察などを行い発熱・咳などの風邪の症状や体調不良の選手の出場を見合わせる措置を励行してください。

(7) 安全上、選手の眼鏡使用は禁止するが、スポーツ眼鏡については主審の許可を得ること。

(8) 車は絶対に道路に駐車せず、必ず駐車場に入れること。

(9) シードチーム(ジョカトーレ高岡 Jr、JKキッズなめりかわ、水橋FC、スクエア富山)

審判の心得

富山サッカー友の会審判委員会

1. 試合開始 60 分前までに会場へ到着

本部席に到着後、審判証を当日の審判委員会の責任者に提示し確認をしてもらう。(審判証には必ず写真を貼付のこと)

2. メンバー表・ユニホームの確認

試合開始 40 分前までにメンバー表が提出されます。そのときに両チームから正・副のフィールド及びゴールキーパーのユニホームの提示もあるので、色等の確認をし、重なる場合は両チーム立ち会いの下、色を決定する。

3. 主審と副審の試合前の打合せの徹底

副審の方は、試合後の割り当てになると思いますが、試合開始前に3人で打ち合わせを行い審判証の確認をしてください。(審判報告書に副審の名前の記入漏れも無くなるばかりでなく名前も知らない同士では意志の疎通を欠き、相互の援助体制が生まれません)

選手は毎年六年生です!! 審判をする我々は1年毎に年老いていきます!!!
されどガンバッテ、コートを走りまくって下さい。

閉会式・表彰式

6月20日(日)富山県総合運動公園

1.成績発表

2.表彰

優勝	(賞状)	(社)富山県サッカー協会
	(優勝盾)	富山サッカー友の会
	(優勝カップ)	読売新聞社
	(賞状・優勝旗・メダル)	北日本放送

チーム名:

準優勝	(賞状)	(社)富山県サッカー協会
	(賞状・メダル)	北日本放送

チーム名:

第三位	(賞状)	(社)富山県サッカー協会
	(敢闘賞トロフィー)	北陸コカ・コーラボトリング

チーム名:

第三位	(賞状)	(社)富山県サッカー協会
	(努力賞トロフィー)	YKK

チーム名:

グッドマナー賞	(トロフィー)	花王株式会社
---------	---------	--------

チーム名:

3.大会講評 (社)富山県サッカー協会代表

4.閉会宣言